

岐大通 2013

today's guest : 栃木SC 2012 J2 1勝 9分 1敗 勝ち点 60:11位

1953年に創設された『栃木教員サッカークラブ』は、1994年から『栃木SC』に。1999年に関東リーグに昇格していきなり優勝、地域決勝でもアローズ北陸(現:カターレ富山)に次ぐ2位でJFL昇格を決める。JFLでは9シーズンを戦い、2008シーズンで2位となり、カターレ、ファジアーノ岡山とともにJ2昇格となる。(吉田鑄造)

3連勝を懸けた10/6のホーム・松本戦では、残念ながら敗れてしまったFC岐阜。続く10/20(日)のアウェイ・長崎戦では0-3と完敗、最下位の鳥取が福岡と引き分けたため、勝ち点差は2と縮まってしまった。しかし、Jリーグで唯一開催された平日10/23の第3節・アウェイ横浜FC戦では、中2日でのアウェイ連戦という過酷なコンディションの中、引き分けて勝ち点を獲得し、最低限の結果を残すことができた。これで再び鳥取との勝ち点差を3に広げ、また、20位・群馬との勝ち点差も2に縮め、再々度の降格圏脱出のチャンスも生まれた。しかし、逆に考えれば最下位・鳥取との勝ち点差は僅かに3。得失点差では岐阜が-40、鳥取が-32ということを考えれば、勝ち点で並べられると得失点差で鳥取に逆転される、つまり1試合でひっくり返される危険性もある。やはり、まだまだ油断できる状況にはない。少しずつでも勝ち点を積み上げて、降格圏を脱出したいものだ。長かったはずの2013年シーズンも、いつの間にか残り5試合。これからの1試合1試合は、本当に大事な試合だ。

さて、今節の対戦相手は、現在10位の栃木SCだ。9/13に老将・松本育夫監督が就任後、なんと5戦無敗。10/6にはガンバ大阪も破り、勢いのあるチームと言えるだろう。ただ、岐阜との通算対戦成績は4勝2分4敗と五分で、200年のJFL時代を合わせても5勝2分5敗と五分だ。今年は4/21・第10節にアウェイで0-2と敗戦しているが、2勝1分1敗と勝率の良いホームでは、リベンジを果たしたいところだ。

岐阜は#30中村選手が横浜FC戦の退場により出場停止なのが苦しいが、他のFW陣の活躍に期待したい。一方の栃木では、15得点とチーム内得点王の(そして前節の東京V戦でハットトリックを達成した)#9サビアが累積警告で出場停止なのは岐阜にとって好材料だ。しかし13得点の#11クリスティアーノは健在だし、怪我で戦線を離脱していた#7パウリーニョも復帰しており、間違いなく厳しい対戦相手だ。また、かつて岐阜に在籍していた高木和正(06~09年)、菅和範(08~11年)は古巣相手に燃えているだろうし、当時のチームメイトだった#4田中、#1染矢、#1野垣内の3選手も、負けじと普段以上のプレーを見せてくれることだろう。栃木もプレーオフ進出がギリギリ懸かっており、両者にとって“勝たなければならぬ”試合だ。

JFL時代から対戦し、前後してJに昇格した岐阜と栃木。選手の移籍等もあって何かと因縁のある両チームだが、今年から栃木のGMに就任し、9月から監督となった松本育夫氏は、昨年まで岐阜の社長を務めた今西和男氏とは同い年で、マツダ(現・広島)で共に戦った間柄。また新たな因縁が両チームに付け加わった。しかし、様々な過去の歴史を抱えながらも、過去に縛られないピッチ上の選手たちを支えるのは、今日このスタジアムに集う、僕らサポーターの役目だ。最後まで勝利をアキラメナイ気持ちで、選手を後押しし、そして試合終了の笛が鳴った時には、みんなで勝利の歓喜を分かち合おう。(ささたく)

2013J2 順位表 第3節

勝点、得失点差、得点、失点、岐阜戦の戦績(岐阜から視て)

1	神戸	75p	+34	71	37	A	H
2	G大阪	74p	+42	84	42	A	H
3	京都	66p	+24	64	40	H	A
4	千葉	61p	+21	63	42	H	A
5	徳島	60p	+7	51	44	H	A
6	長崎	60p	+7	44	37	H	A
7	札幌	54p	+8	55	47	A	
8	松本	54p	-4	45	49	A	H
9	岡山	53p	+9	48	39	H	A
10	栃木	53p	+5	54	49	A	
11	山形	51p	+10	64	54	H	
12	東京V	51p	-5	49	54	A	H
13	横浜FC	49p	+1	41	40	H	A
14	水戸	48p	-6	43	49	A	H
15	福岡	48p	-9	40	49	A	H
16	愛媛	44p	-5	38	43	A	
17	北九州	42p	-10	43	53	H	A
18	熊本	39p	-23	38	61	H	A
19	富山	35p	-16	37	53	H	
20	群馬	34p	-18	35	53	H	A
21	岐阜	32p	-40	32	72	---	---
22	鳥取	29p	-32	33	65	A	H

次回 HomeGame

第4節 愛媛FC戦

11/10(日) 16:00

@岐阜メモリアルセンター

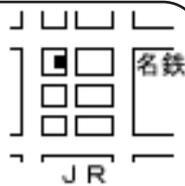
長良川競技場

投稿募集!

gidaidohr@hotmail.co.jp

「いらっしゃいませ」より「おかえりなさい」が似合うアットホームな韓国料理店。『チヂミ屋』はJR岐阜・名鉄岐阜駅から徒歩3分。

休:月曜(定休日が変わりました!)



岡田 歯科医院

岐阜市加納新本町 1-23
tel:058-273-8998

ALADDIN

何も無い店だけど...
心の花が咲く...
何も無い店だけど...
心癒される...
忘れかけていた喫茶店がある

岐阜市昭和町3丁目(木ノ本公園東)

【第3節】岐阜 1-2松本

前半が0 - 0で終わると、ホッと胸をなで下ろし、同時に「イケるぞ!」という気持ちが充満してくる自分の仕様がどうにもこうにも…… (苦笑)。

試合内容としては、松本のやりたい放題、とは言わないが彼らのやりたいサッカーにかなりの頻度でつきあわされたという感じ。スティッペの二度の決定機が……とか、2点差つけられてからの大作戦じゃなくて、もっと早めに……とかのタラレバは確かにあるが、決定機を決められなかった回数も松本の方が多かった。悔しいけど松本との差は成熟度。決して、戦力的には引けを取らないと信じて疑わない。

とにかく、ペナルティーエリアに進入する人数が多いほど得点機会は増える。うちも3列目、キャプテンや森安が前で絡めた時はチャンスもしくはチャンスの芽ができた。もちろん、90分をやり通すことは難しい。どこかでスロウダウンしなければならぬだろうが、だからこそ重要なのが先取点。先に得点すれば相手の出方を伺えるだけだ。今季もそういう展開が圧倒的に少ない。逆転勝ちもハデでインパクトが強いけど、その分いろんなモノが削られてしまう。今のメンバーを開幕前に揃えられていたら……と、またしてもタラレバ。それにしても、ウチのバンデラ17番のミドルは豪快だった。アレが決まったらなあ~と、さらにタラレバ。繰り返すけど、松本との差は成熟度。決して、戦力的には劣っちゃいない。それだけによけい悔しい。そして、またしても反町の狙い通りにやられてしまったことがいっそう悔しさを募らせる。

くだいけど、松本との差は成熟度。他にあるとしたら、サポの数だけ。え?それがいちばんの問題?そうだな。否定はできない。けど、彼らは戦況に関係なく、ただ歌ってるだけだろ?試合関係なく歌ってるだけなら、そりゃ楽しいだろうし、楽しそうに見えるよね。フン!ま、半分は負け惜しみですともさ。残りの半分は八つ当たり……アレ?松本の監督がカレでなきゃ、こんなに腹立つこともないんだらうけど(苦笑)。(ぐん、)

開始3時間も前から松本サポが大勢。「ねえ父ちゃん、なんで相手サポおらんの?」なんて素直な疑問をぶつける松本サポの男の子。もう立派な『サポーター』だね(笑)。松本サポの勢いは屋台村も襲い、試合開始前に『鶏ちゃん丼』『飛騨牛串』『飛騨牛バーガー』が相次いで陥落。たぶん『飛騨牛串』が陥落したのは、「イナゴ」ことFC東京サポが来襲した2年前以来ではないだろうか。

1 - 2で負けたけど、2失点目は「同点狙い」で攻撃を厚くした結果だから。終了間際には総攻撃をかけ、なんとか1点差にして終了。この得失点差1が残留に奏功する可能性もある。でも、やっぱりドローで終えたかったね。

(吉田鑄造)

JFL順位表(10/25現在・残り5試合)

1位:長野パルセイロ 勝点63	
2位:カマタマーレ讃岐 勝点62	J2ライセンスあり

3位:SC相模原 勝点51	
4位:町田ゼルビア 勝点51	J2ライセンスあり
5位:ツエーゲン金沢 勝点46	J2ライセンスあり

金沢の「2位以内」の可能性はなくなりました。そして、町田も残り試合で勝ち点12と得失点差27の差を埋めるのは相当厳しく、J2ライセンス保有クラブが上位2チームを占める可能性はかなり低くなりました。J2側から見ると「2位は自動残留」ということになります。(吉田鑄造)

26日(土)の試合結果 町田2 - 1讃岐

27日(日)の試合 福島 - 長野

【第3節】長崎 3-0岐阜

初めて訪れた長崎、諫早のスタジアムは来年の国体に向けてかなり改修がされていた。2階建てのスタンドは等々力によく似た感じがした。

さて、試合。岐阜はいつになくいい感じの入り方をしていたと思う。にもかかわらず10分過ぎに失点。これで流れがガラッと変わってしまった。この失点シーンを事故みたいな失点だと評した方もいらっしまったが、やはり一瞬の判断力、集中力の差が出てしまったのだと感じた。あとはほぼ長崎のゲームプラン通りの印象。特に2点目を佐藤洸一に奪われたのは、非常に悔しく歯痒かった。

鳥取が引き分けたため、最下位転落は免れた。でもやはり他力本願はダメ。今日を含めて残りあと5試合、悔いのないように全力で戦おう。さすれば道は開かれる。必ずや残留を掴み取るぞ!(岐阜の誇り)

残念な試合。とても残念な試合。ものすごく残念な試合。これは、自分としては精一杯の婉曲的な表現です。確かに試合の入りは、今シーズン見たことがないような勢いでした。でも、ほんの10分程度でしたが。本音を言うと、この試合の感想はこの辺で切り上げたい。書けば書くほど自分の中で焦燥感と失望感が充満して爆発しそうになってしまいます。

もう、試合の入りは今季最高だったとかは不要です。前半はよかったとか、後半の戦い方を続けることができるとかも要りません。そんなことはもう何の慰めにもならない。もちろん、勝ち点にはこれっぽっちも加算されません。

悔しいけど、長崎はいいチームです。でも、長良川で対戦した時よりも出来はよかったんでしょうか?少なくとも0 - 3で負けるような相手ではなかったと思っています。先取点は事故のような蹴りそこないが決まったような形でしたが、結局はセットプレーからの流れを変えることができなかったことと、1対1で負けたのが原因。しかし、これはまだしょうがない面もあるかもしれません。でも、2失点目などは何をかいいわんや。1点ビハインドで最終ラインをセンターサークル近くまで上げて攻撃しているのに、その最終ラインで、しかも十分な体勢でボールをキープしていたハズのDFが相手のファーストチェックであっさりボールを取られたら、そりゃ「お好きなように」と言わんばかりのフリースペースがあるのは当然。結果、数的不利な状況を作られサクッと失点。反対側のゴールでしたが、もう想像通りの展開だったのでよくわかりました(苦笑)。いや~、その瞬間に厚別でのアウェイ札幌戦の失点、アノ悪夢が蘇りましたよ。まさか、またあんな軽いプレーがこの期に及んで見られるとは……。あ、J通算50ゴールおめでとう>洸一。次は100ゴールをめざしてください。

結局、最下位転落は免れました。退場やらなんやらが各地であったみたいですが、とにかく京都さんと福岡さんに感謝の気持ちでいっぱいです。でも、これで鳥取とは勝ち点差が2。得失点差で差をつけられているため、次節ウチが負ければ鳥取が引き分けでも最下位転落です。逆に、ウチが勝って一つ上の群馬が負けても、これも得失点差で順位は変わりません。つまり、降格と隣り合わせであるという状況からは抜け出せてないんです(あ、水曜日の横浜戦次第ですが)。選手はこの現状を理解しているんでしょうか?長崎戦を見ているとどうにも心配でなりません。それとも、すでに相当のプレッシャーがかかっているんでしょうか?こんな時こそ、思い出したくもない昨季の経験を生かしてほしいんですが……。

幸いにして、最下位=降格ではないかもしれませんが。それをよりどころにたくはないし、どの試合でも勝ちを見に行っはいるんです。でも、正直に言います。この試合のような軽いプレーをしていて勝てる相手はJ2にはいません。そんなに甘いリーグじゃないです。ボクも残り試合すべてに参戦して、精一杯応援します。選手の皆さんも精一杯のプレーを見せてください。お願いします!(ぐん、)

【第35節】横浜FC2-2岐阜

現地で観戦してた者の心情を吐露すれば、「誰か、アノ主審替えてっ！」ふだん、スタジアムでは恥ずかしながらそれなりに(?)判定へのヤジを飛ばしますが、スタジアムを出れば判定のことは言わないようにしてるつもりです。ウチに不利な判定ばかりに見えますが、それはたぶん対戦相手も同様で、シーズンをトータルで考えたらブラマイゼ口だろうと思ってます。それでも、さすがに横浜戦はキツかった。コレが率直な感想なんだけれども、どうだったんでしょうか?>スカパー!観戦の方。普通に妥当な判定だったんでしょうか?

スティッペが入ってからスイッチが入ったというか重しが取れたというか、完全に横浜を圧倒してましたよね?もう2点くらい取れそうな雰囲気です選手もイキイキとして文字通り「水を得た魚」のようなプレーをしていたのですが、ユーキの2枚目が全て。主審はジェスチャーで「繰り返しのファール」とかやってましたよ。にこやかな笑顔を浮かべながら(怒)。「オマエは昔の西村かっ!」しかも、2枚目って把握してませんでしたよね?横浜側から言われて赤紙を出してました。こっちは黄色取り出した瞬間に怒髪天だったというのに(苦笑)。帰宅して録画を見たら、解説の人が「ヨーロッパのラフなプレーの中でやってきたんだからタフなのは慣れてるだろうけどJリーグの基準にも合わせなきゃ。プロなんだから。」と言ってました。まあ、プロの解説者なんだから海外の試合もそれはたくさん見てるんだろうけど、一応ユーキも大学まで日本でサッカーしてるから。日本の基準はわかってますって。それで倒れるDFがひ弱なんじゃないの?それに、退場の時には「あれくらいはFWなら、あたりまえのかけひき。」とも言ってるワケだし、ふだんの試合でもよくあるFWとDFの勝負だよ。逆に、この主審がJの基準に慣れてないんじゃないのかな?とりあえず、長谷だったよね。覚えておこう。

こんな感じで、試合後も憤懣やるかたなし。気持ちに苛立ちささくれ立っていたんだけど、それを救ってくれたのはバクスタにいたサッカー少年団。ユニは赤だったけど、いっしょにコールしてくれて。和まされたし癒やされた。どこの子供たちだろう?ウチの選手の後輩でもなさそうな...。ダンマクとかゲーフラもなかったと思うし。でも、ホントにありがとう!スタジアムでも「ありがとう!」って拍手したけど、とてもうれしかったよ(あとで、仲間が調べてくれましたが、どうやら1番が小学生の時に所属していたクラブの後輩だとか)。

でも、選手たちはよくがんばってくれました。長崎は何だったの?くらいに(前半の新井のアレには息が止まりそうだったけど)試合後には「とにかく、最低限の結果は出してくれた」なんて言ってたんですが、アノ状況で勝ち点を奪取してくれたことに敬意を表します。で、問題は次節栃木戦。いつも、イイ試合の次が.....、だからね。今度こそ頼んだよ!

あ、忘れちゃならないのが後半開始直後の同点の場面。鮮やかなパス交換の起点となったばかりか全力でゴール前に進入してきて鮮やかなワンタッチゴールを決めたあと、ゴール裏に駆け寄って来てくれたソメのカッコよさったら表現の仕様が無い。シビれた(古いか?今なら「ヤバイ」?)思わず、フェンス乗り越えて抱きつきに行きたい衝動に駆られてしまった。もちろん、気持ちに即座に応えられるカラダでなくなって久しいので、禁止行為をやっちゃうことはなかったけれど(苦笑)もちろん、スティッペもサポの気持ちをわかってきてます。あのDF2人の間から通したパスには息を飲みました。一瞬、ラポーナ?とか思っちゃいましたよ。

残り5試合。こんな場面をいっぱい見たいもんです。お願いします!(ぐん、)

【ユース】公式戦が終わりました

我がFC岐阜ユースU-18(以下FC岐阜ユース)は10月5日(土)にG1リーグの最終節の試合を戦いました。対戦相手は岐阜工業。岐阜のサッカー好きならみんな知っている高校サッカーの強豪校です。

この試合は観戦出来ませんでした。結果は1対2の惜敗。この結果、FC岐阜ユースは5勝1分8敗の勝点16得失点差-2の6位でシーズンを終了しました。この後に帝京大可児高のプリンスリーグ残留が濃厚ですし、G1リーグで優勝した各務原高校が12月に予定されているプリンス参入戦に挑んだり、G2リーグへの降格チームはまだハッキリしませんが、多分FC岐阜ユースはG1リーグに残留出来たのかな?と思っています。来年は残留争いではなく中位以上での活躍を期待しています。

次にJユースカップについて。町田戦以降に予選リーグの3試合がありました。10月14日(月・祝)にアウェーでアルビレックス新潟ユースと、10月17日(木)笠松町の岐阜県FCでジュビロ磐田ユースと、10月20日(日)にアウェーで東京ヴェルディユースとそれぞれ対戦しました。つまり1週間で3試合。しかもアウェーホームアウェーと、トップチームばりの強行スケジュールです。この中でホームのジュビロ磐田ユースとの試合を観戦してきました。ジュビロ磐田ユースは今年も東海プリンスリーグに所属していましたが、その東海プリンスリーグでは2位に勝ち点差1をつけてブチギリの優勝を収めているとっても強いチームです。1日は平日夜にも関わらず来場した沢山のサポの方が見守る中で磐田ボールでキックオフ。KOから暫くは磐田が怒涛の攻撃でFC岐阜ユースのゴールに襲い掛かり、FC岐阜ユースはそれを何とかしのぐ状態。イヤイヤどうなるの?と思っていましたが、10分過ぎた頃にはFC岐阜ユースも所々でボールをキープして磐田陣内に攻め込む事が出来るようになりました。よし、行けるぞ!と思った前半23分に磐田の見事なカウンターで失点。その後もFC岐阜ユースは立て直して奮戦しますが、前半終了間際にCKからのドンピシャヘッドも決められて0対2で折り返します。

後半も磐田が主導権を握る展開は相変わらず。そして時間の経過と共に地力の差が如実に現れてきて、後半7分以降に連続3失点を喫したりと一方的な展開になりかかります。ただこの日のユースっ子は気合が入っていたんでしょうね。いつものリーグ戦なら敗色が濃厚になるとすぐにプレーがダレる傾向がありますが、この日は踏ん張って試合を持ち直し、逆に何度か攻め込むシーンも見られました。ただバーに嫌われたり、もう一歩が及ばなかったりで得点に結びつける事が出来ず、結局0対8での敗戦となりました。試合後は何人も選手が人目をはばからず泣いていました。この他にも新潟には0対4、ヴェルディには0対6で敗戦し、結局4戦全敗となり、今年も初勝点を上げる事が出来ずにJユースカップは予選リーグ敗退となりました。

これで今シーズンの公式戦は全て終了となりました。イコール3年生の選手達は今後の進路を模索していく事になります。卒業する選手たちが希望する進路に進んで行ける事を切に願います。

頑張れよ、応援しているからな!FORZA!FC岐阜ユース!!(シュナ)



本庄工業株式会社

<http://www.honjp-woodream.com/>

FC岐阜 2013 応援ソング チャント サポートソング集

■チームコーン(試合開始前)

※試合が始まります。みんなで手を拍子をしてスタジアムを盛り上げましょう。
 オーイ！●●●、オーイ！●●●、
 オイ！●、オイ！●、オーヨルツァ岐阜！

■チームチャント(選手入場時)

※タオルでフワフワや旗、ケートフワフワ等を掲げて選手を迎えましょう。
■日曜日よりの使者 (ザ・ハイロウズ/日曜日よりの使者)
 We are 岐阜 We are THE GIFU ラララー ラララー
 We are 岐阜 We are THE GIFU ラララー ラララー(ギョ！)

■チームコーン

1) FC岐阜コーン.その1【通常】
 エゴ！シュー！ギョツ！●●● ●●● ●●●
 2) FC岐阜コーン.その2【チャンス後】
 ギョーツ●●● ギョーツ●●● ギョーツ●●● ギョーツ●●●
 3) FC岐阜コーン.その3【チャンスゾーン】
 ゴール！ゴール！エツぎっふ！●●●
 4) FC岐阜コーン.その4【ボール保持時】
 ハ！モ！ギ！フ！●●● ●●● ●●●
 5) FC岐阜コーン.その5【WE ARE GIFU】
 ヲイー！アー！岐阜！●●● ●●● ●●●

■チームチャント

■FC岐阜 We Love You (水森亜土/さきすきソング)
 オツオツ オオオオツオツオオオオオオオオ(エツジギョ！)
 オツオツ オオオオツオツオオオオオオオオ(エツジギョ！)
 FC岐阜 FC岐阜 We Love You (オイ！オイ！オイ！オイ！)
■エンターテイナー (S.JOPLIN/The Entertainer)
 オー オオオオオオオオー Oh エツジ岐阜アレー
 オー オオオオオオオオー Oh エツジ岐阜アレー
 さあ 胸を張って 戦おうぜ 緑の勇者(ゆしゅ) アレー
■ナダシ (Vagoy Achorante)
 ハモ岐阜ハモ 友よ さあ行くこう ナダシる 暴れる われらと
 熱い気持ち ハモ岐阜ハモ いざ 今戦おう
■誇り胸に (Hay dho boaters)
 俺達が 共にいる どんな時も お前と
 今ここで みせる岐阜 誇り(ほこり)胸に 戦え
■護なら (オリジナル)
 共にいこうぜ われらと ラララ ラーラーラーラー
 共に闘え(たかえ) われらと ラララ ラーラーラー
 勝利をつかめ きみが護(おご)となり
 ハモ ハモ GOLAZO(ゴラゾ)！ ラララ ラーラーラー
■我ら岐阜 (Small Hakk bey/トルコ軍隊行進曲: Ceddin Dedin)
 WE ARE GIFU WE ARE GIFU ラララー ララララー
 おお友よ いざゆかん 時が今ここに さあ誇り(ほこり)高き われら岐阜
■ラララ岐阜(トライアルウ)
 ラーラーラーラー ラーラーラーラー
 ラーラーラーラー ラーラーラーラー
■Boys In Green (Basshunter/1 can walk on water, I can fly)
 魂(たましい)尽きる(つきる)まで 駆ける(かける)星へ友よ
 勇気(ゆうき)胸(むね)に抱き(なま) 信じて(しんじて)いるBoys In Green
 (*) 最初は この歌詞で抱き、次は「ラ」で歌い始める。繰り返し
■輝く聖地 (Booa Juniors/La 12)
 ここはオシらの長良川 何も恐れることないのさ
 La 長良川 輝く聖地 オシたちと共に行く
 アレーアレーアレーアレーアレー アレーアレーアレーアレーアレー

■得点時チャント

■ゲットゴール！
 ラララーララ ラーラー ラララーララ ラララー ラーラー
 ラララーララ ラーラー ラララー ラララーララ ラララー ゲツタゴール！

■タオル振りチャント

※みんなでタオルや旗を振りながら歌いましょう。
■モリヤ (CULTURE CLUB/Kama Chameleon)
 エーソニー キーン ゲツタゴール！ ゲツタゴール ゲットゴー
■ネットを揺らせ (細ひろみ/誘われてコマメコ)
 ネットを揺らせユエーユエー ネットを揺らせユエーユエー

■俺らは歌う

ラララ俺らは歌う 岐阜の誇り(ほこり)胸に
 友の勝利を信じ 熱く声を響かせるのさ
■ザンクトハバウリ
 ラララーララ ラーラー ラララーララ ラーラー
 ラララーララ ラーラー フォルツァ 岐阜 フォルツァ 岐阜
■俺たちと共に (オリジナル)
 オーオー エツジ岐阜 おーれーたーちと とーもにー
 オーオー エツジ岐阜 すべてをかけー たたかえー
■負けれない戦い (PET SHOP BOYS/Go West)
 オーオー！ ハモ岐阜 オシ オーオー！ ハモ岐阜 オシ
 負けられない戦い 魂(たましい)込め 戦え
■情熱を胸に (オリジナル)
 燃えたぎる情熱(じょうねつ)をー その胸に持ち 戦え
 恐れず(おそれず) 前を向き ゴールを奪え(うばえ)ー
■アレス
 アレスアレスアレスアレスアレス
 アレスアレスアレスアレスアレス
■アツク闘え
 オーオー オオオオ 友よ さあ 俺達と共にー
 オーオー オオオオ 友よ アーツク 闘えー
■FORZA FC岐阜
 ラーラ ラーラー ラーラー ラーラー ラーラー ラー
 フォルツァ FC岐阜！ フォルツァ FC岐阜！
■アイーダ(凱行進曲) (Giuseppe Verdi/Grand March (from arda))
 オーオー オオオオツオツオオオオオオー オオオオオー
 FC岐阜！ FC岐阜！ FCぎーーーっふ！
■俺らの誇り (アイーダ-万歳四唱からのつぎで)
 オーオオオ 俺らの誇り(ほこり) オーオオオ 岐阜の誇り(ほこり)
■シヤナナ (MINAMI-SHAYANA)
 ララララララ ラーラー ラーラーラー 岐！ 岐！ 岐！
 ララララララ ラーラー ラーラーラー 岐！ 岐！ 岐！
■SUNRIZE GREEN (LUNDBERG/SUNSET BLUE)
 行け 行け われらが FC岐阜
 We are GIFU, We love GIFU, Let's Go！ FC岐阜
 支え続けーるから (オイ！オイ！オイ！オイ！オイ！)

■勝利のチャント ※試合に勝った喜びを、高らかに歌いましょう。

■勝利の賛歌 (オリジナル)
 WE ARE GIFU 共にわれらは 歌う
 WE ARE GIFU 共に勝利の賛歌(さんか)を
 緑の友をわれらは誇り(ほこり) 敬喜(かんき)の叫びで 大地よ震えろ(ふるまろ)
 勇ましき(いさまし) われら岐阜 絆(きずな)よ 永久(とわ)に オー

■個人チャント

- 高木 貴弘(たかぎ たかひろ) 【たかひろ！●●●】
高木 貴弘 オオオオオオオオオオオ 高木 貴弘 オオオオオ
- 杉山 新(すぎやま あらた) 【あらた！●●●】
あーらーた 杉山 新 杉山 新
- 子ズモンド(DESMOND N'za Kouassi) 【子ズモンドオレ！●●●●●】
- 田中 秀人(たなか しゅうと) 【たなか しゅうと！●●●●●】
田中 秀人 ラララーラーラー ラーラー
田中 秀人 ラーラーラーラーラララー
- 関田 寛士(せきた ひろし) 【せきた！●●●】
ハモモ 関田 寛士 オオオオオ オオオオオ
- 服部 年宏(はつとり としひろ) 【はつとり！●●●】
服部 年宏 服部 年宏 オオオオ 熱い 魂(たましい)
- 地主園 秀美(ぢぬし の ひでみ) 【ゾノ！ゾノ！ゾノ！●●●●●】
地主園 秀美 地主園 秀美 地主園 秀美 俺達と共に
- 李 漢宰(り はんざい) 【リハンザイ！●●●】
ハンゾーエー リハンゾーエー ハンゾーエー オレーオレー
- 美尾 敦(みお あつし) 【みおあつし！●●●●●】
美尾 敦 美尾 敦 美尾 敦 アシ美尾 敦
- 柴矢 一樹(そめや かずき) 【そめや！●●●●●】
ゆけーゆけー ハモ柴矢 ゆけーゆけー ハモ柴矢
岐阜の章(あきら) ハモ柴矢 オールツァー ハモ柴矢
- 井上 平(いのうえ たいら) 【たし柴矢 オールツァー！●●●●●】
オオオオ タイラ 井上タイラ タイラ ゲツタゴール ターイラー
- 山崎 正登(やまさき まさと) 【やまさき！●●●●●】
ハモモ やーまさきまさとー ハモモ やーまさきまさとー
- 平野 又三(ひらの またぞう) 【またぞう！●●●●●】
17 野垣内 俊(の がい と しゅん) 【の がい と！●●●●●】
オオオオ 野垣内 俊 共にどこまでーもー
オオオオ 野垣内 俊 いこうぜ ラララララー
- 杉本 浩之(すぎもと ひろゆき) 【すぎもと！●●●●●】
- 益山 司(ますやまつか) 【つかさ！●●●●●】
益山 司 オオオオオオオオオオ 俺らの司 岐阜の司
- 新井 展也(あらいたつや) 【あらい！●●●●●】
- 太田 岳志(おたがくじ) 【がくじ！●●●●●】
- 森安 洋文(もりやす ひろふみ) 【もりやす！●●●●●】
森安 森安 ラーラーラーラー
岐阜のために 駆けー抜ける 森安 洋文
- 尾泉 大樹(おいずみ たいき) 【おいずみ！●●●●●】
ハモ尾泉 ラーラー ラララララ ハモ尾泉 ラーラーラー
- 清水 拓己(しみず たくみ) 【たくみ！●●●●●】
- 中島 康平(なかしま こうへい) 【なかしま！●●●●●】
- 樋口 寛規(ひぐち ひろき) 【ひぐち！●●●●●】
オオオオ 樋口 寛規 オオオオ 樋口 寛規
さあ行くこう 熱い気持ち胸に
- 水野 泰輔(みずの たいすけ) 【たいすけ！●●●●●】
- 楽原 龍(らばら まこと) 【らばら！●●●●●】
- 中村 祐輝(なかもら ゆうき) 【なかもら！ゆうき！●●●●●】
- 時久 省吾(ときひさ しょうご) 【ときひさ！●●●●●】
時久 省吾 時久 省吾 時久 省吾 時久 省吾
- ドンヒョン(Dong Hyun DO) 【ドンヒョン！ドンヒョン！●●●●●】
- ケインセント ケイン(Keane VINCENT) 【ケイン！●●●●●】
- Blazhe ILJOSKI) 【パージェ！パージェ！●●●●●】
- 公亮(きたに こうすけ) 【きたに！●●●●●】
- ステアツベ(Stipe PLAZIBAT) 【 】